

有限会社 大坊建設

設計と職人技と県産スギ

団地内で道を訪ねて教えられたとおりに次のT字路を左折し、突き当りの1本手前の道へ右折すると、目の前に、〇様邸があった。表札を確認するまでもなく外観だけで分かった。ガルバリウム鋼板の黒色と、玄関前を囲む縦格子のイエローオーク（柿渋色）とのハイセンスな組み合わせ。(有)大坊建設が田子町に建てた寶田様邸（『青森県産材の家』No.Xに掲載と同様に目を惹く外観だ。出迎えてくれた奥様の笑みが浮かんだ目——毎年3月に『青森県産材の家』を大坊建設に届けるときの事務の女性の目——と重なった。



2022年度第15回あomor産木材活用建築コンテスト優秀賞受賞

ユーザー訪問

〇様邸

DATA

南部町東あかね

2021年11月竣工

■床面積／平屋建て約60坪(約198.34㎡)

■使用青森県産材／スギ(柱、梁、格子、天井)、ヒバ(縁側)など。

「BDAC」で設計

リビングからすぐ外に林が見えた。家の裏が小高い山裾に接しているのだった。周りが家に囲まれている、自然に面したロケーションの土地を探して取得したという。タラノキのある庭と、その背後の林の風景を掃き出し窓越しに取り入れた設計だ。小上がりも含めれば31



黒いガルバリウム鋼板と縦格子のイエローオークが印象的な外観

帖ある広いリビング。船底になったスギの格子天井も、頭上にゆったりと開放感を与えている。

床板はダークブラウン（こげ茶色）。それに合わせて作り付けのテレビ台もキッチンのカウンターも同色でまとめている。『渋め』がご主人の好みで、外観に黒のガルバリウム鋼板を選んだのもご主人だそう。

——奥様が大坊建設に勤めているから大坊建設で建てたということでしょうか。

奥様の話（いえいえ、と笑って）主人にも好みや要望はありますからね、どんな感じの家がいいか、常設展示場へ行ってみました。6社の展示場が並んでいるそうですから、「こういう感じがいい」となれば好みがかかります。

大手ハウスメーカーの展示場だけあって豪華さに圧倒されそうでしたけど、室内を見学しながら、係員にあれこれ質問しているうちに、イメージして



床板やキッチンカウンターのハイセンスな色合いが映える81帖の広々としたリビング



床板のダークブラウンと同色でまとめられた作り付けのテレビ台

いた「自由設計」とは違うな、と思ったんです。

例えば、外壁です。選べるのは「色」だけだと言うのです。外壁に張るサイディングは最初から決まっていて、色だけは好みに合わせられる、と。会社の規定の枠があつてその中からというのは、選ぶんじゃない、選ばざれているようなものですよね。

設備もそうで、キッチンとかもメーカーが決まっていて、その中からしか選べないんです。これって「自由」じゃありませんよね。

係員の対応の内容は6社と



青森スギを使用して船底を模したリビングの格子天井



もそんな感じで、「あそこの家
が良かった」という言葉は主人
からも出ませんでした。夫婦で
意見が合ったのは、「外壁を違
うものにした」ということで
した。見ただけでどこのハウス

メーカーで建てたのかが分かる
ようなサイディングではなく、
もっと別な外観にしたい——
と。
それで、大坊建設で建てた家
の外観だけでも主人に見ても

らおうと、休日に車で案内して
回ったんです。「こういう感じが
いい」と主人がひと目で気に
入ったのは、大坊建設が3年前
に建てた寶田様のお宅でした。
黒いガルバリウム鋼板と、柿渋
色のスギ板とのツートンカラー
の外観。設計したのは東京の建
築家です。

——例のBDAC（ビーダッ
ク、へ注）システムですね。

奥様の話 そうです。住宅設備
業界の最大手が展開している、
施主の要望に合う建築家を紹
介するシステムで、寶田様邸も
20人の中から選ばれた建築家
が設計したのです。センスが違
いますよね。事務所の近くに
建っていて、実はわたしも完成
したときから素敵だなあ、って
眺めていたんですよ。

大坊建設に建ててもらおう、
って寶田様邸の外観を見た
だけで主人はそう決めました。
大坊社長に伝えると、寶田様邸
を設計した同じ建築家を指名
してくれました。

天井に木が見える

奥様の話 東京の建築家とは
大坊建設の事務所でお会いし
ました。まずは面会して、施主
の要望を一つ一つ確認しながら
プランづくりを進めていくのだ



建築家のセンスが光るリビングの小上がり



そうです。第一の要望は「平屋」でした。家の中でケガをするのは圧倒的に階段が多いそうですから、まだ小さい子供がいるので、広い土地を買って平屋で建てると主人は決めていました。それと、わたしの母親が同居する部屋が必要なこと。車庫は車2台分。——出来上がった、次はコロナのためにリモートで打ち合わせをしました。平面図で直したのは、物置きを、洗濯物を干すランドリールームに変えたくらいです。母親の部屋のそばには母親専用のトイレが付いていますし、リビングにはお客様が泊ることができるよう小上がりもあるし、子供部屋は将来2つに仕切られるように広いし、充分です。主人は、図面の外観パースを見ただけでももう大満足の様子でした。

——リビングを格子天井にしたのはご要望ですか？

奥様の話（大きな声では言えませんが）見積もりの仕様で

は天井はクロス貼りだったんですけど、社長が、従業員の家だからって奮発してくれたんですよ。この木が見える天井と、ただクロスを貼っただけの天井を想像で比較してみました。社長まるで趣が違いますよね。社長に感謝しています。

——ゆるく暖房が入っているようですけど、エアコンは見当たりませんか。

奥様の話（玄関へ行って）この天井裏に本体を収納してあるんです。そこから床下に送るんだ温風が、床の吹き出し口からゆるく立ちのぼるんです。わたし、あの壁から吹き付けて



南側がなだらかな山林で陽がさえぎられない

くる風が苦手で、そしたら社長がこの方式の暖房を付けてくれました。冷暖房です。リビングにいて音はまったく聞こえないし、快適ですよ。

*

奥様がこんなエピソードを披露してくれた。——結婚する前に、ご主人は、大坊社長と会ったことがあるのだそう。2人で三戸町の焼肉店に行つて、席に座つたら、隣の席にいたのが大坊社長と奥様と友だちだったのにはびっくり。まったくの偶然で、お互いに驚いたという。結婚前で、家のことは具体化していなかったときのことだが、ご主人が大坊建設を選んだ背景には、そういう「偶然」という「縁」が作用していたに違いない。

.....

(注)BDAC: 建築家・設計者・依頼者の頭文字を取った名称。建築家が「Builder」、設計者が「Design、architects」、依頼者が「Clients」



有限会社 大坊建設

本社 ● 三戸郡田子町大字田子字下田子69-4
 TEL.0179-32-3580 FAX.0179-32-3582
<https://daibou299.com/>
 E-mail: kouki299@leaf.ocn.ne.jp

